



## 2019年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月8日

上場会社名 株式会社クリエイトSDホールディングス  
 コード番号 3148 URL <http://www.createshd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬泰三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎哲也

TEL 045-914-8241

定時株主総会開催予定日 2019年8月23日 配当支払開始予定日 2019年8月26日

有価証券報告書提出予定日 2019年8月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期の連結業績(2018年6月1日～2019年5月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期	286,299	6.8	14,241	2.7	14,623	2.7	9,719	1.9
2018年5月期	268,161	8.4	13,861	4.0	14,236	3.6	9,540	5.7

(注) 包括利益 2019年5月期 9,724百万円 (1.7%) 2018年5月期 9,562百万円 (6.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年5月期	153.75		13.3	11.5	5.0
2018年5月期	150.92		14.5	12.3	5.2

(参考) 持分法投資損益 2019年5月期 百万円 2018年5月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期	133,315	76,889	57.7	1,216.24
2018年5月期	121,412	69,377	57.1	1,097.42

(参考) 自己資本 2019年5月期 76,889百万円 2018年5月期 69,377百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年5月期	13,435	10,656	2,212	31,584
2018年5月期	11,302	4,648	2,170	31,017

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年5月期		17.00		17.00	34.00	2,149	22.5	3.3
2019年5月期		18.00		18.00	36.00	2,275	23.4	3.1
2020年5月期(予想)		19.00		19.00	38.00		23.4	

### 3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	151,500	7.7	6,570	1.6	6,730	2.1	4,640	0.6	73.40
通期	307,600	7.4	14,970	5.1	15,300	4.6	10,270	5.7	162.45

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期	66,819,342 株	2018年5月期	66,819,342 株
期末自己株式数	2019年5月期	3,600,639 株	2018年5月期	3,600,563 株
期中平均株式数	2019年5月期	63,218,748 株	2018年5月期	63,218,819 株

(参考)個別業績の概要

2019年5月期の個別業績(2018年6月1日～2019年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期	6,140	3.2	5,641	3.3	5,644	3.3	5,218	3.4
2018年5月期	6,345	8.8	5,833	9.0	5,834	10.9	5,401	10.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期	82.54	
2018年5月期	85.44	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年5月期	38,879		38,738		99.6		612.76	
2018年5月期	35,867		35,732		99.6		565.22	

(参考) 自己資本 2019年5月期 38,738百万円 2018年5月期 35,732百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
(1) 役員の異動 .....	14
(2) その他 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、米国貿易施策や英国EU離脱問題長期化などによる世界経済への影響懸念、原油価格や為替相場の動向、天候不順、物流費・人件費の増加、人員不足問題、予定されている消費税増税に向けた節約志向などにより、先行きは依然不透明なまま推移いたしました。

ドラッグストア業界におきましては、競合他社の出店や価格競争の激化に加え、他業種からの参入や企業の統合・再編の動きが増加しつつあり、依然厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「セルフメディケーションを力強くサポートし、総合的な地域医療に貢献する」企業を目指して、ドラッグストア事業、有料老人ホーム事業及びデイサービス事業を展開しております。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、小商圏において繰り返しご来店いただけるための利便性の向上及び健康サポート機能を付加することによる専門性の向上に継続して取り組んでまいりました。

売上高につきましては、新規出店による店舗数増加や調剤部門が堅調に推移したことにより前期に対して増収となりました。

利益面につきましては、専門性として強化している調剤部門の伸長や販促の見直しなどにより売上総利益率が前期を上回ったこと及び人時数をコントロールして人件費の上昇を小幅に抑えたことにより前期を上回る結果となりました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、生鮮食品を取り扱う専門店と協業した店舗や、前期から展開しているビューティ強化型の新業態Cremo(クレモ)などを含め44店舗の新規出店を行いました。一方で契約期間満了により2店舗、経営効率化の観点から2店舗の閉鎖を行いました。

調剤薬局につきましては、地域医療に貢献するため、健康サポート機能を有する「かかりつけ薬局」を目指し、薬剤師の育成に注力するとともに地域での医療連携の強化及び在宅医療への対応拡大を推進してまいりました。それに伴い処方箋応需枚数も順調に増加いたしました。

調剤薬局の新規出店につきましては、ドラッグストアへの併設調剤薬局を25店舗開局いたしました。一方、契約満了によりドラッグストアへの併設薬局1店舗、経営効率化の観点から調剤専門薬局を1店舗閉局いたしました。

#### <有料老人ホーム事業>

有料老人ホーム事業につきましては、ペットと一緒に暮らせるお部屋、美味しい食事や多彩なイベントを特色とする介護付有料老人ホーム2施設を運営しております。

当連結会計年度におきましては、これら当社ならではの特色をホームページや営業活動を通じてアピールし、入居率の向上を図ってまいりました。

#### <デイサービス事業>

デイサービス事業につきましては、高齢者の方が長くご自宅で暮らすための生活機能訓練を特色とする半日型のデイサービスセンターを中心に運営しております。

当連結会計年度におきましては、収益性向上のため、1日型(昼食、入浴あり)のデイサービスセンター1施設を開設するとともに6施設の定員拡大を行い、また経営効率化の観点から1施設を閉鎖いたしました。

以上により、当連結会計年度末の当社グループの店舗数はドラッグストア599店舗、調剤薬局では調剤専門薬局35店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局173店舗の合計208店舗となり、有料老人ホーム事業では介護付有料老人ホーム2施設、デイサービス事業ではデイサービスセンター39施設となりました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高286,299百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は14,241百万円(前年同期比2.7%増)、経常利益は14,623百万円(前年同期比2.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は9,719百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は133,315百万円となり、前連結会計年度末に比べて11,902百万円増加いたしました。主な要因は、売掛金が1,321百万円、商品が2,092百万円、新店及び出店準備物件の増加等に伴い固定資産が7,351百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度末における負債合計は56,426百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,391百万円増加いたしま

した。主な要因は、買掛金が2,641百万円、ポイント引当金が230百万円、退職給付に係る負債が327百万円、長期資産除去債務が255百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度末における純資産は76,889百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,511百万円増加いたしました。主な要因は、配当金支払により2,212百万円減少、親会社株主に帰属する当期純利益9,719百万円を計上したことなどによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は31,584百万円となり、前連結会計年度末に比べて566百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13,435百万円（前年同期比2,132百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益13,931百万円、減価償却費3,446百万円、法人税等の還付693百万円であり、支出の主な内訳はたな卸資産の増加2,094百万円及び法人税等の支払額が5,334百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10,656百万円（前年同期比6,007百万円の支出増）となりました。これは主に出店に伴う有形固定資産の取得による支出9,327百万円、貸付けによる支出1,204百万円、出店仮勘定による支出677百万円等の結果であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,212百万円（前年同期比42百万円の支出増）となりました。これは配当金の支払2,212百万円の結果であります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き景気動向は明るい兆しが見られるものの、世界経済、地政学的リスク、消費者の節約指向などの要因から、わが国経済の先行きは依然として不透明な状況で推移するものと考えられます。

ドラッグストア業界におきましても、業界の垣根を越えたより一層の競争の激化や業界再編の動きの活発化が考えられ、厳しい経営環境が続くと想定されます。

このような状況の中で、当社グループは、地域での総合ヘルスケアサポートに根ざした強固なドミナント形成によるエリア内でのシェアアップを引き続き推進してまいります。これまで構築してきた小商圏における高来店頻度のビジネスモデルを土台に、世の中の変化に適応する施策を進めてまいります。

具体的には、超高齢社会の到来に対して、在宅対応を含めた「かかりつけ薬剤師」の育成、健康サポート機能を有する「かかりつけ薬局」の展開をしてまいります。

キャッシュレス化の推進に対しては、自社電子マネー機能付きポイントカードを導入し、お客様の利便性向上とともに、金銭管理負担の軽減を図ってまいります。また、Eコマースの隆盛、マスからパーソナルへの変化に対して、ドラッグストアの専門性としてのヘルスケア&ビューティケア商品の展開強化と、お客様との触れ合いを大切にす経営理念に即した接客強化を推進してまいります。

介護事業につきましては、有料老人ホームでは、美味しい食事の追求、ペットと暮らせる環境の整備や、後方業務の効率化による対人サービスの充実などにより、顧客満足度を高めてまいります。またデイサービス事業では、デイサービスセンターの定員拡大をさらに進めるとともに、1日型デイサービスセンターでの生活リハビリ、レクリエーションなどを充実させ、収益性の向上を図ってまいります。

以上により、2020年5月期の業績につきましては下記のとおり予想しております。

2020年5月期の業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通期	307,600	14,970	15,300	10,270

(参考) 予想1株当たり当期純利益 162円45銭 予想期中平均株式数 63,218,703株

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の実績は、様々な要素によりこれら業績予想とは異なることがあります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと認識しており、積極的な業容の拡大と事業展開に備えるため内部留保金の充実を図りながら、配当性向、純資産配当率を総合的に勘案し、継続的、安定的に配当していくことを基本方針としております。当連結会計年度におきましては、上記配当方針に従い2019年8月23日開催予定の定時株主総会において、当連結会計年度末現在の株式1株当たり普通配当18円とすることを付議する予定であります。

また、次期の1株当たり配当につきましては、中間配当19円、期末配当19円の年間38円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当連結会計年度 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,017	19,584
売掛金	6,128	7,450
有価証券	12,000	12,000
商品	26,751	28,844
貯蔵品	22	23
その他	7,291	7,860
流動資産合計	71,212	75,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,599	29,459
減価償却累計額	△12,773	△14,115
建物及び構築物（純額）	12,825	15,343
土地	7,011	9,378
建設仮勘定	430	2,155
その他	18,588	19,923
減価償却累計額	△13,998	△15,384
その他（純額）	4,590	4,538
有形固定資産合計	24,856	31,415
無形固定資産		
のれん	344	286
その他	198	338
無形固定資産合計	543	625
投資その他の資産		
投資有価証券	159	133
長期貸付金	8,633	9,018
繰延税金資産	3,893	4,457
敷金及び保証金	9,175	9,741
その他	2,970	2,190
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	24,800	25,510
固定資産合計	50,200	57,551
資産合計	121,412	133,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当連結会計年度 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	34,947	37,589
未払法人税等	2,412	2,640
賞与引当金	253	268
役員賞与引当金	100	103
ポイント引当金	2,940	3,170
資産除去債務	9	12
店舗閉鎖損失引当金	39	-
その他	6,315	6,934
流動負債合計	47,019	50,718
固定負債		
退職給付に係る負債	1,728	2,056
資産除去債務	2,516	2,772
転貸損失引当金	46	41
その他	723	837
固定負債合計	5,015	5,707
負債合計	52,035	56,426
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	71,969	79,476
自己株式	△4,392	△4,393
株主資本合計	69,511	77,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	11
退職給付に係る調整累計額	△162	△140
その他の包括利益累計額合計	△133	△128
純資産合計	69,377	76,889
負債純資産合計	121,412	133,315

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
売上高	268,161	286,299
売上原価	194,479	207,346
売上総利益	73,681	78,953
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	2,940	3,170
給料及び手当	23,288	25,249
賞与引当金繰入額	228	238
役員賞与引当金繰入額	97	93
退職給付費用	382	418
減価償却費	3,200	3,407
地代家賃	12,127	13,300
その他	17,553	18,833
販売費及び一般管理費合計	59,819	64,711
営業利益	13,861	14,241
営業外収益		
受取利息	118	113
受取配当金	1	1
固定資産受贈益	139	139
その他	121	131
営業外収益合計	380	385
営業外費用		
支払利息	2	1
貸倒引当金繰入額	0	0
支払補償費	2	1
その他	0	0
営業外費用合計	6	4
経常利益	14,236	14,623
特別利益		
補助金収入	5	6
その他	0	0
特別利益合計	5	6
特別損失		
減損損失	347	691
店舗閉鎖損失引当金繰入額	39	-
固定資産圧縮損	5	6
その他	9	0
特別損失合計	402	697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
税金等調整前当期純利益	13,839	13,931
法人税、住民税及び事業税	4,704	4,778
法人税等調整額	△405	△566
法人税等合計	4,298	4,211
当期純利益	9,540	9,719
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	9,540	9,719

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
当期純利益	9,540	9,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△17
退職給付に係る調整額	10	21
その他の包括利益合計	21	4
包括利益	9,562	9,724
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,562	9,724
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	934	64,514	△4,392	62,056
当期変動額					
剰余金の配当			△2,086		△2,086
親会社株主に帰属する当期純利益			9,540		9,540
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	7,454	△0	7,454
当期末残高	1,000	934	71,969	△4,392	69,511

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	18	△173	△154	61,901
当期変動額				
剰余金の配当				△2,086
親会社株主に帰属する当期純利益				9,540
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10	10	21	21
当期変動額合計	10	10	21	7,475
当期末残高	29	△162	△133	69,377

当連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	934	71,969	△4,392	69,511
当期変動額					
剰余金の配当			△2,212		△2,212
親会社株主に帰属する当期純利益			9,719		9,719
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	7,507	△0	7,507
当期末残高	1,000	934	79,476	△4,393	77,018

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	29	△162	△133	69,377
当期変動額				
剰余金の配当				△2,212
親会社株主に帰属する当期純利益				9,719
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△17	21	4	4
当期変動額合計	△17	21	4	7,511
当期末残高	11	△140	△128	76,889

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	13,839	13,931
減価償却費	3,247	3,446
減損損失	347	691
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	35	15
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	2
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	200	230
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	39	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	327	359
受取利息及び受取配当金	△119	△115
支払利息	2	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△600	△1,321
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,894	△2,094
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,184	2,641
その他	△643	288
小計	15,956	18,073
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△5,301	△5,334
法人税等の還付額	646	693
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>11,302</b>	<b>13,435</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,700	△9,327
無形固定資産の取得による支出	△28	△169
長期貸付けによる支出	△974	△1,204
長期貸付金の回収による収入	881	915
長期前払費用の取得による支出	△77	△79
建設協力金の回収による収入	6	5
敷金及び保証金の差入による支出	△487	△223
敷金及び保証金の回収による収入	107	95
有価証券の償還による収入	4,000	-
出店仮勘定による支出	△1,441	△677
その他	65	9
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,648</b>	<b>△10,656</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△84	-
配当金の支払額	△2,086	△2,212
自己株式の取得による支出	△0	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,170</b>	<b>△2,212</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,483	566
現金及び現金同等物の期首残高	26,521	31,017
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	13	-
現金及び現金同等物の期末残高	31,017	31,584

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、ドラッグストア事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)		当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	
1株当たり純資産額	1,097円42銭	1株当たり純資産額	1,216円24銭
1株当たり当期純利益金額	150円92銭	1株当たり当期純利益金額	153円75銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	9,540	9,719
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	9,540	9,719
期中平均株式数(株)	63,218,819	63,218,748

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の異動

開示内容が定まった時点で開示いたします。

## (2) その他

(仕入及び販売の状況)

## ①事業別売上実績

当連結会計年度における売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	69,940	107.5
OTC	45,305	104.4
調剤薬局	24,635	113.8
化粧品	39,307	105.0
食料品	112,939	107.7
日用雑貨品	46,255	105.3
その他	15,828	105.6
小計	284,270	106.8
有料老人ホーム事業	698	107.2
デイサービス事業	1,330	104.3
合計	286,299	106.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②地区別売上実績

当連結会計年度における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)		当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
神奈川県	164,666	61.4	174,356	60.9
東京都	39,699	14.8	42,002	14.7
静岡県	34,277	12.8	37,096	13.0
千葉県	15,085	5.6	17,628	6.2
その他	14,431	5.4	15,216	5.3
合 計	268,161	100.0	286,299	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③仕入実績

当連結会計年度における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	41,435	108.3
OTC	26,256	102.8
調剤薬局	15,179	119.5
化粧品	25,561	104.4
食料品	94,398	106.8
日用雑貨品	33,437	103.9
その他	12,615	103.4
小 計	207,448	106.1
有料老人ホーム事業	—	—
デイサービス事業	—	—
合 計	207,448	106.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。